

【研究の視点】

視点1：デジタル教材を活用した学習の流れ(授業全体を通して)

視点2：郷土教育と国際理解教育の視点を盛り込んだ活動の設定

1 単元名 When is your birthday?

2 本時(4/8)

(1) 目標

- 友達と誕生日等にほしいものを伝え合う活動に進んで参加しようとする。【学びに向かう力・人間性等】
- 年中行事や地域行事の日付や、欲しいものを尋ねたり答えたりすることができる。【知識・技能】

(2) 展開

避	主な学習活動	時間	教師の支援	基本的な語彙・表現/準備
意欲をもつ	<<Warm Up>> 1 Greeting 2 Small Talk “When is ~?”	(分) 2 5	○ 日直児童と交代で健康・天気・曜日などを尋ねる。 ○ Let’s Sing を歌った後で、前時までに学習した行事を尋ね合わせる。	A:When is Halloween? B: Halloween… It’s October 31 <sup>st</sup> . A:Tha’s right.
つかむ・見通す	3 Today’s Goal 日づけとほしい物を友達とたずね合おう。 4 Target words ・本時で扱う言葉(衣類, 状態, 様子)の練習をする。 ・Let’s Chant①②をする。	2 7	○ 学習計画を掲示しておき、目的をもって活動に入れるようにする。 ○ 進んで英語を話したいという意欲を高めるためにリズムよく慣れ親しませる。	○ T-shirt, vest, sweater, uniform, new, cool, cute … A:When is your birthday? B:My birthday is July 19 <sup>th</sup> . A:What do you want? B:I want a yellow T-shirt.
挑戦する・広げる・いかす	<<Activity>> 5 Let’s Try3 ・誕生日に欲しいものを作り取りする。 6 Let’s Listen2【視点2】 ・行事の日付を聞き取る。 7 Let’s Try4【視点2】 ・行事で欲しいものを作り取りする。 8 Sounds and Letters ・小文字の練習をする。	6 5 7 5	○ 尋ね方や答え方, コミュニケーションの取り方を実演して確認してから始める。 ○ 郷土教育の観点から Q2 では、地域の人にインタビューをした動画の前半を見せ、夏祭りがいつあるのかを聞き取らせる。 ○ 後半では、何が欲しいのかを聞き取らせ、友達同士で聞き合う活動につなげる。 ○ 小文字の形の特徴を抑えながら音声と文字を一致させて練習をする。	A:What do you want for your birthday? B:I want a red cap. Q2 前半 A:When is <i>Higashihara Himawari</i> festival. B:It’s August 8 <sup>th</sup> . Q2 後半 A:What do you want for <i>Higashihara Himawari</i> festival? B:I want juice. ○h, i, j, k, l, m, n
振り返る	<<Refrection>> 9 振り返りカードに記入し、発表する。 10 Greeting	5 1	○ できるようになったことや気づいたこと, もっと知りたいこと等を発表させ、意欲を高めて次時につなげる。	○振り返りシート A:That’s all for today. B:Thank you Mackey.